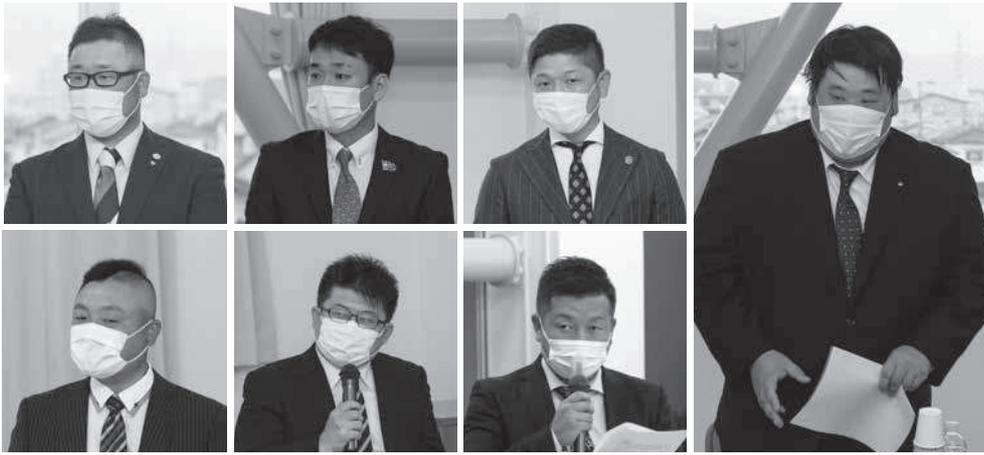


移動市長室

筑紫野市商工会青年部 筑紫野プライド CHIKUSHINO PRIDE



通算101回目となる移動市長室を、8月6日(木)に筑紫野市商工会館で開催し、筑紫野市商工会青年部11人と懇談を行いました。

筑紫野市商工会青年部(青年部)は、昭和47年に設立し、今年で48周年を迎えました。部員数は76人で、45歳以下の若手経営者・後継者が構成されています。

青年部との懇談は平成27年7月以来2度目です。地域を盛り上げる精力的な活動について報告を受けました。

焼きそばでPR

毎年、天拝山観月会やいきいき商工農フェスタに出店している青年部。来場者にとって楽しい思い出とな

るよう心がけ、品目などを工夫しているそうです。人気メニューである「紫男焼きそば」は、青年部が考案したもの。飲食店を経営する部員の監修のもと、味付けなどを考えました。しば漬けや赤しそのふりかけで筑紫野市をイメージした紫色を添え、市をPRしています。

キャラクターでPR

青年部では、オリジナルキャラクター「ゴッピー」を活用したゴッピーブランドを推進しています。中でも特徴的なのが、紫色をしたゴッピーマヨネーズとゴピードレッシング。おいしさにこだわって作り、イベントなどで販売しています。

人気アニメとのコラボレーションに取り組んだ地域へ先進地視察に赴くなど、積極的にキャラクターを生

かした地域活性化に取り組んでいます。



ドライブスルー事業で活躍する青年部の皆さん

婚活でPR

独自の事業として、男女の出会いの場となるイベントを開催しています。参加者が最初から最後まで楽しめるよう工夫を凝らし、青年部員も参加者となって盛り上げるそうです。童岩自然の家や二日市温泉などを会場に設定するなど、地域の観光資源を生かしたイベントとなっています。「せっかく筑紫野市のイベントに参加してもらおうので、市の魅力を十分に楽しんでもらえるよう企画を考えています」と役員は話しました。



強みを生かした事業者支援

新型コロナウイルス感染症による影響はかなり大きく、部員である事業者も対応を余儀なくされました。市内の事業者を支援するため、商工会が実施したテイクアウトの取り組み「ていくあちくしの」。そのドライブスルー事業に青年部もスタッフとして参加しました。参加した役員は「県内でも例を見ないほど早い対応ができたと思います。青年部が強みとするスピード感を生かすことができました」と活動を振り返りました。

創造力と行動力を生かして

アイデアに富んだ多くの事業を行っている青年部。活動報告をする皆さんの姿からは、地元筑紫野を大切に、誇りを持って活動している様子が伝わってきました。部長の合田貴秀さんは、「歴代の先輩からの思いを受け継ぎ、地域貢献を果たしていきます。今後も、青年部らしく知恵を振り絞り、持ち前の行動力を生かして筑紫野市を盛り上げていき

たいです」と話しました。

参加者の感想

・市長の熱い思いを直接お聞きすることができたのでよかったです。
・自分たちの意見を積極的に聞いていただいて、前向きな良い会になったと思います。



藤田市長の一言

皆さんが商工会青年部として熱心に活躍してあることがよくわかり、大変心強く思いました。それぞれに自分の担当する事業について、自分の言葉で信念を持った発言をされており、これからの商工会を担って立つ青年部として、結束を強め、切磋琢磨しながら成長されていくことであろうと、強く感じたところでございます。

今後とも皆さん方のお力をお貸しいただき、筑紫野市の発展のために頑張ってくださいと思います。素晴らしい時間を過ごさせていただきました。ありがとうございます。

